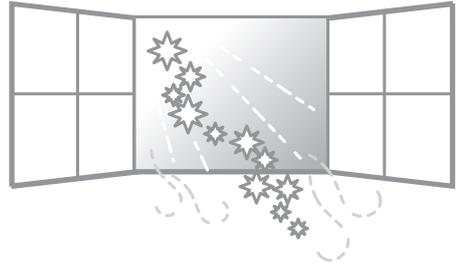


「わたし大好き みんな大好き」

人権の窓を開けて、優しい陽の光と、さわやかな風を感じてください



今年、私の担任するクラスは二人のかわいい女の子です。去年の春に入学してきたばかりの、ぴかぴかの一年生です。

四月から、毎日の終わりの会で、お互いの「やさしさみつけ」を行っていきます。最初のうちは、「やさしさみつけ」といっても、自身の生活に精いっぱい友達たちのことをじっくり見ていく余裕のなかった二人ですが、学校生活に慣れ始めたころから、どんどん見つけられるようになってきました。内容は、「Aちゃんが竹馬いっしょにがんばろうねと言ってくれて、やさしいなあと思いました」「Bちゃんの鉛筆を拾ったら、すぐにありがとうと言ってくれてうれしかったです」というように、他愛ないものが多いのですが、一人が発言すると、もう一方も負けずに発言する、そうするとまたもう一方が：という光景は見ていてとてもほほ笑ましいものです。二学期の途中か

らは、お互いの「がんばりみつけ」にも取り組み始め、相手のことをよく見て頑張っていたことを讃え合っています。得意なことも性格も全く違う二人なのですが、困ったときにはさっと助け合え、お互いの良さを認め合って、「大好き！」と言い合っています。

そんな二人を見ていると相手の良さを認めることの大切さに改めて気付かされます。かわいい二人にも、長所もあれば短所もあります。短所に気付き、直そうとすることもとても大切ですが、自分の長所を知っていることは、子どもたちの育ちの中でも、大人社会でもとても大事なことです。ただ自分の良さは、人との関わりの中で気付くことも多いと思います。

これからも、自分の良さも、相手の良さも認められる子どもを育てていきたいと思っています。

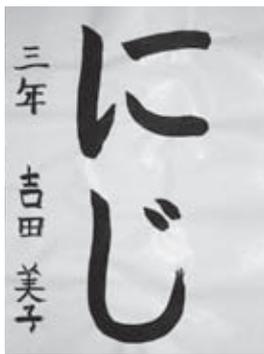
新庄小学校 人権教育主任
山崎 詩子

なんたんミュージアム 7

—南丹市立宮島小学校—



「お面」 黒田 葵さん(5年)



「習字」 吉田 美子さん(3年)



「版画」 黒田 旭さん(1年)



「水彩画」 野嶋 藍さん(6年)



「版画」 本郷 晶さん(4年)



「版画」 湯浅 龍典さん(2年)